

【書写】

書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

| 発行者の番号及び略称 | | 教科書名 |
|------------|-------|----------|
| 2 | 東 書 | 新編 新しい書写 |
| 15 | 三 省 堂 | 現代の書写 |
| 17 | 教 出 | 中学書写 |
| 38 | 光 村 | 中学書写 |

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

| 観点 | | 視点 | 方法 |
|-----|-----------------|----------------------------------|------------------------------------|
| (ア) | 知識及び技能の習得 | ① 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方 | 正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数 |
| | | ② 文字の書き方の示し方 | 筆使い及び紙面構成等の示し方 |
| (イ) | 思考力、判断力、表現力等の育成 | ③ 目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫 | 目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例 |
| (ウ) | 主体的に学習に取り組む工夫 | ④ 他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫 | 教科の学習や生活の様々な場面との関連を図った単元名等及びページ数 |
| | | ⑤ 学習の見通しを立てるための構成上の工夫 | 学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴 |
| | | ⑥ 自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫 | 学習の目標及び振り返りの示し方 |
| (エ) | 内容の構成・配列・分量 | ⑦ 単元・教材等の配列・分量 | 総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数 |
| | | ⑧ 伝統と文化に関する内容の記述 | 伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い |
| (オ) | 内容の表現・表記 | ⑨ デジタルコンテンツの活用 | デジタルコンテンツの数・内容及び扱い |

【書写】

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 観点 | (ア) 知識及び技能の習得 |
| 視点 | ①姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方 |
| 方法 | 正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数 |

| | | 正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等 | ページ数 |
|-----------------|---------|---|------|
| 東 書 | 写真 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を整えて書くための姿勢（毛筆、硬筆） ○ 用具の名前・置き方 ○ 書きやすい鉛筆の持ち方 ○ 書きやすい筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法） ○ 後かたづけ（大筆、小筆、硯） | 2 |
| | イラスト・写真 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 墨のすり方 | |
| 三省 堂 | 写真 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方（毛筆：懸腕法、硬筆） ○ 大筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）、小筆の持ち方・構え方（提腕法・枕腕法） ○ 用具の扱い方（用具の準備・墨のすり方・用具の片づけ方） ○ 鉛筆の持ち方 | 5 |
| | イラスト | <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆の運び方（筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き）と「筆脈を意識しよう」 | |
| 教 出 | 写真 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本の姿勢（大筆：懸腕法） ○ 用具の置き方 ○ 毛筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：枕腕法・提腕法） ○ 硬筆の持ち方（鉛筆・ボールペン） ○ 墨のすり方 ○ 後片づけ | 2 |
| 光 村 | 写真 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 書くときの姿勢（大筆、姿勢のチェック欄） ○ タブレットを使う姿勢 ○ 筆記具の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆） ○ 用具の準備 ○ 用具の片付け（大筆、小筆、硯） | 4 |

【書写】

| | |
|----|----------------|
| 観点 | (ア) 知識及び技能の習得 |
| 視点 | ②文字の書き方の示し方 |
| 方法 | 筆使い及び紙面構成等の示し方 |

| 第1学年 行書・点画の変化について示された紙面 | | |
|-------------------------|--|---|
| | 筆使い | 紙面構成等の示し方 |
| 東書 | 「点画の変化」 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「1 見つけよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、点線で筆脈を示している。 ○ ポイントとなる箇所、「行書の動きのパターン」に当てはまる筆使いをマークで示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに学習のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「見つけよう」では、楷書と行書で書かれた硬筆の文字を上下に示している。 |
| 三省堂 | 「点画の形や方向の変化」 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き方を学ぼう」では、矢印や点線で筆脈を示し、言葉で解説している。 ○ 主教材となる文字の行書(朱墨と薄墨)と、楷書(黒墨)を並べて示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに書き方のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「形の変化」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を上下に示している。 |
| 教出 | 「点画の連続と変化1」 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、矢印や点線で筆順と筆脈を示し、言葉で解説している。 ○ ポイントとなる箇所に、「変化」という文字と写真で筆使いを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・左ページにポイントを示し、右ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「試し書き」では、硬筆の楷書で字形を確認し、その下に硬筆の行書で書く欄を設けている。 |
| 光村 | 「点画の変化」 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「② 確かめよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを示すとともに、ポイントとなる箇所に、写真と言葉で筆使いを示している。 ○ 半紙原寸大の主教材の文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 4ページ <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで、学習の進め方を示している。 ・次の見開き2ページで、半紙原寸大の主教材の文字を示している。 ○ 「考えよう」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を左右に並べて示している。 |

【書写】

| | |
|-----------|-----------------------|
| 観点 | (イ)思考力、判断力、表現力等の育成 |
| 視点 | ③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫 |
| 方法 | 目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例 |

| 第2学年「楷書と行書の使い分け」 | | |
|------------------|--|--|
| | 場面設定 | 特徴 |
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューのメモを取る。 ○ 試験の申し込み書を書く。 ○ 手紙を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要か、理解しよう」と示している。 ○ 「見つけよう」では、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くか考えるようにしている。 ○ 「確かめよう」では、手紙を書くには楷書と行書のどちらで書くか考えるようにしている。 ○ 「書写のかぎ」では、楷書と行書の特徴や使い分けの際の観点を示している。 ○ インタビューメモ・試験の申し込み書を、楷書と行書で書き分けた例を掲載している。 |
| 三省堂 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字テストの解答欄に記入する。 ○ 伝言を受けたときに、簡条書きでメモを書く。 ○ 贈り物をしてくれた相手にお礼状を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「目的や必要に応じて、書体を選択して書くことができる」と示している。 ○ 「①」では、場面に応じて、楷書と行書のどちらで書くとよいか、理由も含めて話し合うようにしている。 ○ 「②」では、選択した書体で実際に書く欄を設けている。 ○ 書体を使い分ける際に意識することとして、「読み手」「目的」「状況」という観点を示している。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの内容をメモする。 ・ノートにまとめる。 ・学習した内容をまとめる。 ○ 手紙を書く ○ 学級活動 <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に書く。 ・校内掲示物でお知らせをする。 ○ 学習発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・立て看板で行事があることを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示している。 ○ 学習活動や日常生活の中で、場面に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合えるようにしている。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点について「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。 ○ どのような点に注意するとよいか、話し合うための観点を示している。 ○ 楷書や行書が使われている場面の写真を掲載している。 ○ 教科書右下にある二次元コードから、話し合いの観点を整理するワークシートにアクセスできる。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューのメモを取る。 ○ 選挙ポスターを書く。 ○ 高校の入学願書を書く。 ○ クラスの意見を黒板に書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「場面に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解しよう」と示している。 ○ 「考えよう」では、場面に応じて、楷書と行書のどちらで書くか考えるようにしている。 ○ 「確かめよう」では、考えた理由を話し合えるようにしている。 ○ 「生かさう」では、場面を選んで、楷書か行書で名前を書くようにしている。 ○ 「学びのかぎ」では、楷書と行書を使い分ける際の観点を示している。 |

【書写】

| | |
|----|----------------------------------|
| 観点 | (ウ)主体的に学習に取り組む工夫 |
| 視点 | ④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫 |
| 方法 | 教科の学習や生活の様々な場面との関連を図った単元名等及びページ数 |

| | 学年 | 単元名等 | 教材名・資料名 | ページ数 |
|--------|-----------------|--------------------------------------|--|------|
| 東 書 | 1 | ○ 読みやすく書く—楷書 ○ 読みやすく速く書く—行書① | 「文字といっしょに 手書き文字と活字」 「生活に広げよう 手紙を書こう—お礼状」 「文字といっしょに 文字の移り変わり」 「生活に広げよう 年賀状を書こう」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 職場訪問をしよう」 「文字といっしょに いろは歌」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「少年の日の思い出」「竹取物語」 | 18 |
| | 2 | ○ 読みやすく速く書く—行書② ○ 楷書と行書を使い分ける | 「文字といっしょに 伝統的な用具・用材」 「生活に広げよう 本のポップを書こう」 「楷書と行書の使い分け」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 地域の活動に参加しよう—防災訓練」 「文字といっしょに 筆記具の使い分け」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「枕草子」「走れメロス」 | 16 |
| | 3 | ○ 身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く | 「身の回りの文字の目的と工夫」 「手書き文字の特徴」 「現代につながる文字の役割」 「自分のノートを見直す—効果的な書き方を工夫する」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 思いを文字で表そう」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「故郷」「おくのほそ道」 「文字といっしょに 書の古典—今に生きる書」 | 24 |
| | 書写 活用 ブック | ○ さまざまな書式 ○ ノートの取り方・レポートの書き方 | 「手紙」 「ポスター・フリップ」 「新聞・リーフレット」 「その他の書式」 | 15 |

【書写】

| | 学年 | 単元名等 | 教材名・資料名 | ページ数 |
|-----|---------|---|--|------|
| 三省堂 | 巻頭 | | 「国語 朝のリレー」 | 2 |
| | 1 | ○ 楷書 | 「国語 活字と手書き文字・筆順」 | 10 |
| | | ○ 楷書と仮名 | 「書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列」 ・国語「空中ブランコ乗りのキキ」「レポート」 「文字の変遷」 | |
| | 2 | ○ 行書 | 「書いて身につけよう 点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化」 ・国語「竹取物語」「故事成語一矛盾」「トロッコ」「少年の日の思い出」 「国語 やってみよう グループ新聞を作ろう」 | 10 |
| | | ○ 行書と仮名 | 「書いて身につけよう 点画の省略／筆順の変化」 ・四十七都道府県名 | |
| | | ○ 楷書と行書 | 「書いて身につけよう 行書と仮名の調和／行書に調和する仮名」 ・国語「枕草子」「平家物語」はがき 表面 裏面 | |
| | 3 | ○ 文字文化の豊かさ | 「楷書と行書の使い分け」 「国語 やってみよう 情報誌を作ろう」 | 8 |
| 資料編 | ○ 日常の書式 | 「身のまわりの文字」 「書いて身につけよう 身のまわりの文字」 ・国語「おくのほそ道」「坊っちゃん」 「国語 やってみよう 名言集を作ろう」 | 21 | |
| | ○ 書写の広場 | 「便箋と封筒の書き方」 「はがきの書き方」 「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」 | | |
| 巻末 | | 「文房四宝—進化する筆記具」 「書の古典」 「書き初め（一年）」 「書き初め（二年）」 「書き初め（三年）」 | 1 | |
| | | | 「国語 歌の言葉「群青」」 | |

【書写】

| | 学年 | 単元名等 | 教材名・資料名 | ページ数 |
|--------|----|---|--|------|
| 教 出 | 巻頭 | | 「目的に合わせて書こう」 「知りたい！さまざまな筆記具」 「ふしぎ」 | 5 |
| | 1 | ○ 楷書で書こう ○ 楷書と仮名を調和させて書こう ○ 行書で書いてみよう ○ 書き初めを書く | 「学習内容を効果的にノートに書こう」 「コラム 筆、墨、硯、紙について知ろう」 「学習を生かして書くー配列ー」 ・「竹取物語」 「学校生活に生かして書く」 ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く（ポスターセッション用） 「コラム 文字の変遷」 「行書学習のはじめに」 「コラム あの人が残した文字」 「コラム 活字について知ろう」 (書き初め) 「コラム 「書くこと」の変遷」 | 27 |
| | 2 | ○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう ○ 学習活動や日常生活に生かして書こう ○ 書き初めを書く | 「行書に調和する仮名「いろは歌」」 「文字の大きさと配列」 「コラム 短冊と色紙」 「書く速さを意識して書くー行書と仮名の調和ー」 「学習を生かして書くー行書と仮名の調和と配列ー」 ・「枕草子」「平家物語」 「さまざまな書く場面」 「コラム 日本建築と「書」」 「学習を生かして書く」 ・新聞を書く ・掲示物（ポスター）に案内を書く ・案内状を書く 「コラム 書の古典の鑑賞」 (書き初め) | 24 |
| | 3 | ○ 行書と仮名を調和させて書こう ○ 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く | 「学習を生かして書くー配列ー「おくのほそ道」」 「多様な表現による文字」 「三年間の学習の成果を生かそう」 (書き初め) | 14 |
| | 巻末 | ○ 書式の教室 ○ 書写で身に付けた力を、学習活動で活用しよう ○ 補充教材集 ○ 芸術としての書道 | 「手紙の書き方」「一筆箋の書き方／封筒の書き方」 「はがきの書き方／年賀状／暑中見舞い」 「都道府県名一覧表」 「往復はがきの書き方／電子メールの書き方」 「包み紙の書き方／エアメールの書き方」 「原稿用紙の書き方／小包伝票の書き方」 「願書の書き方／志願理由書の書き方」 「さまざまな考えをまとめる」 「段落の構成を考える」 「スピーチを評価しながら聞く」 「材料を整理して案内文を書く」 「行書と仮名の調和」 | 13 |

【書写】

| | 学年 | 単元名等 | 教材名・資料名 | ページ数 |
|--------|-----------------------------|---|---|------|
| 光 村 | | ○ 1年生[楷書] | 「言葉を書こう1」 ・「竹取物語」、防災かるた、心情を表す言葉 | 11 |
| | | ○ 2年生[行書] | 「筆順の変化」 ・和歌2首 「言葉を書こう2」 ・「平家物語」「走れメロス」「人物を表す言葉」「学習や日常に生かす」 | |
| | | ○ 3年生 | 「言葉を書こう3」 ・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」「おくのほそ道」「ことわざ・慣用句」 | |
| | | ○ 2～3年生 | 「都道府県名を練習しよう」 「年賀状を書こう」 | |
| | 1 | ○ 読みやすく書くための楷書 ○ 読みやすく速く書くための行書 | 「コラム 文字の歴史を探る」 「国語 季節のしおり①」 ・俳句、短歌、季節の言葉 「国語 情報収集の達人になろう」 | 5 |
| 2 | ○ 文字を使い分ける | 「楷書と行書の使い分け」 「国語・学校生活 行書を活用しよう」 ・応援旗、めくり、ポップ、学級目標、年賀状 「コラム 全国フォント見つけ隊」 「国語 季節のしおり②」 ・「枕草子」 「国語 職業ガイドを作ろう」 | 9 | |
| 3 | ○ 文字を使い分ける ○ 未来へ向かって | 「考えよう 手書きのよさって、何だろう」 「全国文字マップ」 「文字の使い分け」 「コラム ユニバーサルデザインフォントって何だろう」 「総合 防災フェスタを開こう」 「コラム 自分らしい文字」 「国語 季節のしおり③」 ・和歌、短歌、俳句、詩 「国語 冊子にまとめよう」 「書く道具が生まれる」 「発展 なりきり、書聖・王羲之」 | 18 | |
| 巻末 | ○ 日常に役立つ書式 ○ 書き初めマスターブック | 「手紙の書き方／はがきの書き方／送り状の書き方／入学願書の書き方／原稿用紙の書き方／レポートの書き方」 「国語・学校生活 通信文を見てみよう」 ・メール、タッチペンでの署名、プレゼンテーション、デジタル付箋 「学校生活 手書きで伝えよう」 「全国書き初め調べ隊」 「書き初め1年生」 「書き初め2年生」 「書き初め3年生」 | 28 | |

【書写】

| | |
|-----------|----------------------|
| 観点 | (ウ)主体的に学習に取り組む工夫 |
| 視点 | ⑤学習の見通しを立てるための構成上の工夫 |
| 方法 | 学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴 |

| | 学習過程の示し方と構成 | 示し方の特徴 |
|----------------------|--|---|
| 東 書 | <p>「書写の学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を確かめて、学習の見通しを持つ。 ○ 1 見つけよう <ul style="list-style-type: none"> 「書写のかぎ」を見つける。 ○ 「書写のかぎ」学ぶこと <ul style="list-style-type: none"> ・学習のポイント。 ・言葉でまとめている。 ・キーワードは太字で示している。 ○ 2 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> 実際に書いて確かめる。 ○ 3 生かそう <ul style="list-style-type: none"> 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って、目標を達成できたか自己評価する。 ・「書写のかぎ」のキーワードを使って、自分の言葉で説明しよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「書写の学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示している。 ○ 「1 見つけよう」では、「書写のかぎ」を見つけるための視点を示している。 ○ 「書写のかぎ」は目標を達成できるよう、箇条書きで記載されている。 ○ 「3 生かそう」や「生活に広げよう」では、学んだことを他の文字や生活の中で生かすための活動などを示している。 ○ 「振り返ろう」では、学習を通して理解したことを自分の書いた文字で振り返ったり、学習してきたことをどのように活用したかを話し合ったりする活動を示している。 |
| 三 省 堂 | <p>「この教科書の使い方・自分の文字をよりよくするために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ① 目標を確かめて学習の見通しをもつ。 ○ 書き方を学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ② 書き方のポイントをつかむ。 ③ 書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているかを見つける。 ○ ④ 書き方のポイントを意識して毛筆で書く。 ○ ⑤ 教材で学んだことを振り返る。 ○ 書いて身につけよう <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。 ⑦ 単元を通して学んだことが実際に活用できているか書いて確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「この教科書の使い方」では、「教材の構成」と「学習の流れ」を上下2段で対応させて示している。 ○ 「学習の流れ」では、単元における学習の流れを示し、「教材の構成」で示している縮小した教材と照らし合わせることで学習の流れの具体が想起しやすい構成となっている。 ○ 「書き方を学ぼう」で身に付けた書き方のポイントを意識して毛筆で書き、「書いて身につけよう」では学びを生かして硬筆で書くことで、学んだことの定着を図るような構成となっている。 ○ 単元末の「自分が学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめることができる記入欄を設けている。 |

【書写】

| | 学習過程の示し方と構成 | 示し方の特徴 |
|--------|---|---|
| 教 出 | <p>「学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標を確かめよう。 ・学習のはじめに、硬筆や毛筆で書こう。 ○ 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ◆課題を発見し、課題を解決していく学び方 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見する。 ・課題に合った練習用紙を選択して練習する。 ◆話し合い活動をととした学び方 <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ書きについて意見を交換しよう ・筆使いを見て意見を交換しよう ○ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学習したことを生かして、硬筆で他の文字を書こう。 ・まとめとして硬筆や毛筆で書き、試し書きと比べてみよう。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。 ◆相互評価をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きとまとめ書きとを比べて、よくなったところを伝え合う。 ○ 学習や日常生活に生かそう | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 学習の目標を確かめた後、硬筆や毛筆で試し書きをすることで「考えよう」において自分の課題が見付けやすい構成となっている。 ○ 「考えよう」では、具体的に話し合う活動をさせるために「書写の学習用語」を示している。 ○ 「生かそう」では、まとめとして書いた文字を試し書きと比べる活動を示している。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」「もう少し＝△」で自己評価できる欄を設けている。 |
| 光 村 | <p>「中学書写スタートブック」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> ①考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・課題について考えよう。 ・「学びのカギ」で、文字の整え方を確かめよう。 ②確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方を確かめて、毛筆で書こう。 ③生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、生かして書こう。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できたか評価しよう。 ○ タブレットを活用しよう <ul style="list-style-type: none"> 活用① 筆使いや姿勢・持ち方の動画を見る。 活用② 書いている姿を撮影し、筆使いや姿勢を確かめる。 活用③ 書いた文字を撮影し、自分の課題を見つける。 ○ 整理体操 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使った後にやってみよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「中学書写スタートブック」の「学習の進め方」では、上段に「学習の進め方」下段に「タブレットを活用しよう」を設け、学習の過程におけるタブレットの活用例を示している。 ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。 ○ 「生かそう」では、硬筆で書いたり、学校生活でも書写の学習を生かしたりできることを示している。 ○ 「振り返ろう」では、目標の上に「○」枠を設け、振り返ることができたら「✓」を記入する欄を設けている。 |

【書写】

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 観点 | (ウ)主体的に学習に取り組む工夫 |
| 視点 | ⑥自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫 |
| 方法 | 学習の目標及び振り返りの示し方 |

| | | 第1学年「楷書」 | | |
|--------|------------|--|---|---|
| | 単元名 | 教材名等 | 上段：目標の記述 | 示し方 |
| | | | 下段：振り返りの記述 | |
| 東 書 | 読みやすく書く一楷書 | ○ 点画の書き方と字形の整え方 ・「大志」 | ○ 点画の書き方と字形の整え方を理解して書こう。 ○ 点画の書き方と字形の整え方について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。 | ○ 「目標」と明記し、学習のまとまりごとにページ右下部に目標を示している。 ○ 「振り返ろう」と明記し、目標と対応させ、学習のまとまりごとに振り返りを示している。 |
| | | ○ 仮名の書き方と字形 ・「あいうえお…」(五十音表) | ○ 仮名の書き方と字形の特徴を理解して書こう。 ○ 仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。 | |
| | | ○ 文字の大きさと配列 ・「夏山の 緑うつりし小窓かな」 | ○ 文字の大きさと配列の整え方を理解して書こう。 ○ 文字の大きさと配列の整え方について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。 | |
| | | ○ 生活に広げよう 手紙を書こう—お礼状 | ○ お礼の気持ちが伝わる書き方をしよう。 ○ これまでに書写で学習してきたことをどのように活用したか話し合おう。 | |
| 三省堂 | 楷書 | ○ 字形の整え方と筆使い ・「天地」 | ○ 字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができる。 ○ 字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができましたか。 | ○ 「目標」と明記し、学習のまとまりごとにページ右下部に目標を示している。 ○ 振り返りのマークとともに、振り返りを示している。 ○ 単元末には、「振り返ろう」と明記し、学習したことを硬筆で書き直す枠を設けるとともに、学んだことを自分の言葉で書く欄を設けている。 |
| | | ○ 書いて身につけよう 字形の整え方(点画の組み立て・部分の組み立て・外形) | ○ 毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。 ○ 学習したことを意識して、上の例を書き直そう。 ○ 自分が学んだことを書き残そう。 | |
| | 楷書と仮名 | ○ 仮名の字形と筆使い ・「いろは歌」 | ○ 仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができる。 ○ 仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができましたか。 | |
| | | ○ 文字の大きさと配列 ・「暑き日を 海に入れたり 最上川」 | ○ 文字の大きさと配列を意識して、読みやすく書くことができる。 ○ 文字の大きさと配列を意識して、読みやすく書くことができましたか。 | |
| | | ○ 書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列 | ○ 毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。 ○ 学習したことを意識して、左の文を書き直そう。 ○ 自分が学んだことを書き残そう。 | |

【書写】

| 第1学年「楷書」 | | | | | |
|---------------------------------------|----------------|--|---|---|-------------------------------------|
| | 単元名 | 教材名等 | 上段：目標の記述 | 示し方 | |
| | | | 下段：振り返りの記述 | | |
| 教 出 | 楷書で書こう | ○ 筆使い—基本点画— | ○ 基本的な筆使いを理解し、書いてみよう。 — | ○ 「目標」と明記し、目標のマークとともに学習のまとまりの最初のページに目標を示している。 ○ 「振り返ろう」と明記し、振り返りのマークを示し、評価の観点に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。 | |
| | | ○ 筆使いと字形 ・「天地」「成功」 | ○ 楷書の点画の筆使いと字形を理解して書こう。 ○ 楷書の点画の筆使いと字形を理解して書けたか。 | | |
| | | ○ 学習を生かして書く —字形、筆順— | ○ 字形の整え方と筆順のきまりを理解して書こう。 ○ 字形の整え方を確かめて書けたか。 ○ 筆順を理解して、字形を整えて書けたか。 | | |
| | 楷書と仮名を調和させて書こう | ○ 楷書に調和する仮名 ・「いろは歌」 ・「ありがとうございました」「よろしくお願 いします」 | ○ 楷書に調和する仮名の筆使いを確かめよう。 ○ 平仮名の筆使いを理解できたか。 | | |
| | | ○ 学習を生かして書く —配列— | ○ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書こう。 ○ 漢字と仮名の大きさを理解して書けたか。 ○ 行の中心を理解して書けたか。 | | |
| | | ○ 学校生活に生かして書く | ○ 漢字と仮名の配列を理解して、日常の学習に生かして書こう。 ○ 漢字と仮名の配列を理解して、日常の学習に生かして書けたか。 | | |
| | | | | | |
| | 光 村 | 読みやすく書くための楷書 | ○ 漢字を分解してみよう ・点画の種類①～⑨ | | — — |
| | | | ○ 漢字の筆使い ・「天地」 | | ○ 漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書こう。 — |
| | | | ○ 楷書に調和する仮名 ・「いろは歌」 | | ○ 平仮名の筆使いや字形を確かめて書こう。 — |
| ○ 文字の大きさと配列 ・「五月雨を あつめて 早し 最上川」 | | | ○ 文字の大きさと配列のポイントを確かめ、読みやすく書こう。 — | | |

【書写】

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 観点 | (エ) 内容の構成・配列・分量 |
| 視点 | ⑦単元・教材等の配列・分量 |
| 方法 | 総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数 |

| | 学年 | 総ページ数 (※は、複数の学年で 扱うページ含む) | 毛筆 教材数 | 毛筆教材を 扱うページ数 | 第1学年で扱う 毛筆教材例 | 硬筆記入欄の ページ数 |
|---------|----------|---------------------------------|-----------|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 東 書 | 1 | 39 巻末折込 4 | 11 | 20 | 「大志」 「あいうえお…(五十音)」 「夏山の緑うつりし小窓 | 10 |
| | 2 | 25 巻末折込 4 | 9 | 14 | かな 「日光」 | 8 |
| | 3 | 17 巻末折込 8 | 5 | 6 | 「大空」 「早春」 「夢の実現」 | 1 |
| | 資料編 等 | 46 | 0 | 0 | 「温故知新」 「美しい緑」 | 0 |
| 三省 堂 | 1 | 34 | 7 | 16 | 「天地」 「いろは歌」 「暑き日を海に入れたり | 11 |
| | 2 | 22 | 4 | 8 | 最上川 「名月」 | 9 |
| | 3 | 9 | 1 | 1 | 「元気」 「探究」 | 2 |
| | 資料編 等 | 33 巻末折込 12 | 14 | 15 | 「日進月歩」 「輝く生命」 | 0 |
| 教 出 | 1 | 57 折込 8 | 12 | 24 | 「天地」 「成功」 「いろは歌」 | 12 |
| | 2 | 30 巻末折込 4 | 9 | 14 | 「ありがとうございました」 「よろしくお願ひします」 | 11 |
| | 3 | 13 巻末折込 4 | 6 | 7 | 「大」 「大洋」 「栄光」 | 2 |
| | 資料編 等 | 30 | 13 | 3 | 「平和」 「新たな決意」 「伝統文化」 | 0 |
| 光 村 | 1 | 27 | 6 | 22 | 「天地」 「いろは歌」 「五月雨をあつめて早し | 6 書写ブック 11 |
| | 2 | 21 | 4 | 12 | 最上川 「大木」 | 6 書写ブック 6 |
| | 3 | 23 | 2 | 2 | 「日光」 | 4 書写ブック 4 |
| | 資料編 等 | 46 +巻末折込 16 (※書写ブックは除く) | 21 | 13 | | 5 ※他、「書写ブック」2～3年生として4ページある。 |

【書写】

| | |
|-----------|------------------------------|
| 観点 | (エ) 内容の構成・配列・分量 |
| 視点 | ⑧伝統と文化に関する内容の記述 |
| 方法 | 伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い |

| | 学年 | 単元名等 | ページ数 | 内容の扱い |
|------------|-------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 東書 | 1 | ○ 文字といっしょに「手書き文字と活字」 | 2 | ○ 明朝体の始まりを扱っている。 |
| | | ○ 読みやすく書く一楷書「仮名の書き方と字形」 | 2 | ○ 平仮名の成り立ちを扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「文字の移り変わり」 | 2 | ○ 文字の変遷を扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「書き初めをしよう」 | 5 | ○ 書き初めを扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「いろは歌」 | 1 | ○ 平安時代から伝わる「いろは歌」を扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「書いて味わおう」 | 1 | ○ 「少年の日の思い出」「竹取物語」を扱っている。 |
| | 2 | ○ 読みやすく速く書く一行書②「行書に調和する仮名」 | 2 | ○ 平仮名の成り立ちを扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「伝統的な用具・用材」 | 2 | ○ 文房四宝を扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「書き初めをしよう」 | 5 | ○ 書き初めを扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「筆記具の使い分け」 | 1 | ○ 8つの筆記具を扱っている。 |
| | | ○ 文字といっしょに「書いて味わおう」 | 1 | ○ 「枕草子」「走れメロス」・短歌を扱っている。 |
| | | ○ 身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く「現代につながる文字の役割」 | 2 | ○ 時代ごとの文字の役割を扱っている。 |
| 3 | ○ 文字といっしょに「書き初めをしよう」 | 5 | ○ 書き初めを扱っている。 | |
| | ○ 文字といっしょに「書いて味わおう」 | 1 | ○ 「故郷」「おくのほそ道」を扱っている。 | |
| | ○ 文字といっしょに「書の古典—今に生きる書」 | 4 | ○ 発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である書の古典を扱っている。 | |
| | | | | |
| 三省堂 | 1 | ○ 楷書と仮名「仮名の字形と筆使い」 | 2 | ○ 平仮名の発生、楷書の教材として「いろは歌」を扱っている。 |
| | | ○ 「文字の変遷」 | 2 | ○ 5つの書体を扱っている。 |
| | 2 | ○ 行書と仮名「行書に調和する仮名」 | 4 | ○ 行書の教材として「いろは歌」「枕草子」「平家物語」を扱っている。 |
| | 3 | ○ 文字文化の豊かさ「身のまわりの文字」 | 4 | ○ 文字文化としての文字の変遷、「おくのほそ道」「坊っちゃん」を扱っている。 |
| | | ○ 書写の広場「文房四宝」 | 2 | ○ 毛筆道具と進化する筆記具の変遷を扱っている。 |
| | 資料編 | ○ 書写の広場「書の古典」 | 2 | ○ 発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である王羲之と光明皇后の書を扱っている。 |
| ○ 書き初め | | 12 | ○ 書き初めを扱っている。 | |

【書写】

| | 学年 | 単元名等 | ページ数 | 内容の扱い |
|----------------|---------------|--|--------------------------------------|--|
| 教 出 | 1 | ○ コラム「筆、墨、硯、紙について知ろう」 | 2 | ○ 文房四宝を扱っている。 |
| | | ○ 楷書と仮名を調和させて書こう「楷書に調和する仮名「いろは歌」」 | 2 | ○ 仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。 |
| | | ○ 楷書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く－配列－」 | 2 | ○ 「竹取物語」を扱っている。 |
| | | ○ コラム「文字の変遷」 | 2 | ○ 文字の変遷について扱っている。 |
| | | ○ 行書で書いてみよう「行書学習のはじめに」 | 2 | ○ 行書の起源と特徴を扱っている。 |
| | | ○ コラム「あの人が残した文字」 | 2 | ○ 日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。 |
| | 2 | ○ 書き初めを書く | 4 | ○ 書き初めを扱っている。 |
| | | ○ コラム「「書くこと」の変遷」 | 4 | ○ 過去から現代に至る手書き文化について扱っている。 |
| | | ○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「行書に調和する仮名「いろは歌」」「気持ちのつながりから文字のつながりへ」 | 2 | ○ 「いろは歌」について扱うとともに、高等学校の内容として、平安時代の「連綿」を扱っている。 |
| | | ○ コラム「短冊と色紙」 | 1 | ○ 平安時代や江戸時代の「懐紙」「色紙」「短冊」を扱っている。 |
| | | ○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列」 | 4 | ○ 「枕草子」「平家物語」を扱っている。 |
| | | ○ コラム「日本建築と「書」」 | 2 | ○ 高等学校の内容として「書院造り」を扱っている。 |
| | | ○ コラム「書の古典の鑑賞」 | 1 | ○ 高等学校の内容として、書風を扱っている。 |
| | | ○ 書き初めを書く | 4 | ○ 書き初めを扱っている。 |
| | | 3 | ○ 行書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く－配列－」 | 2 |
| ○ 巻末「芸術としての書道」 | 1 | | ○ 高等学校の内容として、古典文学を扱っている。 | |
| ○ 書き初めを書く | 4 | | ○ 書き初めを扱っている。 | |
| 光 村 | 1 | ○ 楷書に調和する仮名 | 2 | ○ 楷書として「いろは歌」を扱っている。 |
| | | ○ コラム「文字の歴史を探る」 | 2 | ○ 文字の歴史を扱っている。 |
| | | ○ 季節のしおり1 | 2 | ○ 古典や和歌・短歌・俳句を扱っている。 |
| | 2 | ○ 行書に調和する仮名 | 2 | ○ 行書として「いろは歌」を扱っている。 |
| | | ○ 季節のしおり2 | 2 | ○ 「枕草子」を扱っている。 |
| | 3 | ○ 季節のしおり3 | 2 | ○ 古典や短歌・俳句を扱っている。 |
| | | ○ 「なりきり、書聖・王羲之」 | 1 | ○ 高等学校の内容として、王羲之の書を扱っている。 |
| 巻末 | ○ 書き初めマスターブック | 8 | ○ 書き初めの由来や全国の書き初め文化、書き初めのポイントを扱っている。 | |
| | ○ 書き初め | 16 | ○ 書き初めを扱っている。 | |

【書写】

| | |
|----|--------------------|
| 観点 | (オ) 内容の表現・表記 |
| 視点 | ⑨デジタルコンテンツの活用 |
| 方法 | デジタルコンテンツの数・内容及び扱い |

| | | 数・内容 | | | | | 扱い | | | |
|-----------------|-------------------------|-------------|-----|-------|----|----|------|---|---|--|
| | | 二次元 コード数 | 資料数 | 資料の内容 | | | | その他 | | |
| | | | | 動画 | | | 資料動画 | | | |
| | | | | 書字動画 | | | | | | |
| | | | | 毛筆 | 硬筆 | | | | | |
| 東 書 | 巻頭 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「書写の学習の進め方」の「コンピューターを学習に生かそう」の項で、二次元コードの使い方を示すとともに、教科用図書に掲載のデジタルコンテンツ一覧にアクセスできるURLと二次元コードを示している。 ○ 第1学年「はじめに」の二次元コードから、既習内容や姿勢と筆記具の持ち方、基本の点画の書き方等が確認できる。 ○ 1つの二次元コードから、複数の資料にアクセスできる。 ○ 他教科に関連する内容のページの二次元コードから、東京書籍の国語科の教科用図書の関連ページを確認できる。 ○ 学年末の「書写テストに挑戦!」の二次元コードから書写テストに回答できる。 | | |
| | 1年 | 14 | 42 | 25 | 0 | 12 | 5 | | | |
| | 2年 | 9 | 14 | 8 | 0 | 4 | 2 | | | |
| | 3年 | 4 | 6 | 5 | 0 | 0 | 1 | | | |
| | 巻末 (書写 活用ブ ック) | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | | | |
| | 計 | 33 | 68 | 38 | 0 | 17 | 13 | | | |
| | 三 省 堂 | 裏表紙 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学習のはじめに」の二次元コードから、毛筆の際の姿勢や筆の持ち方、用具の使い方等、硬筆の際の姿勢や鉛筆の持ち方等が確認できる。 ○ 学習の参考となる動画資料(外部サイト)を参照できる二次元コードが3つある。 ○ 他教科に関連する内容のページの二次元コードから、三省堂の国語科の教科用図書の関連ページを確認できる。 ○ 二次元コードの上部に「解説動画」「参考資料」等、確認できる資料の概要が記載されている。 |
| 目次、 巻頭 | | 3 | 11 | 0 | 0 | 11 | 0 | | | |
| 1年 | | 16 | 30 | 23 | 0 | 3 | 4 | | | |
| 2年 | | 9 | 9 | 7 | 0 | 0 | 2 | | | |
| 3年 | | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | | | |
| 巻末 (資料 編) | | 10 | 16 | 6 | 0 | 0 | 10 | | | |
| 計 | | 41 | 69 | 37 | 0 | 14 | 18 | | | |

【書写】

| | | 数・内容 | | | | | 扱い | |
|--------|-------------------|-------------|-----|-------|----|----|--|-----|
| 教 出 | | 二次元 コード数 | 資料数 | 資料の内容 | | | | その他 |
| | | | | 動画 | | | 資料動画 | |
| | | | | 書字動画 | | | | |
| | | | | 毛筆 | 硬筆 | | | |
| | 巻頭 | 9 | 11 | 0 | 0 | 7 | 4 | |
| | 1年 | 15 | 43 | 23 | 11 | 2 | 7 | |
| | 2年 | 12 | 22 | 9 | 6 | 0 | 7 | |
| 3年 | 6 | 9 | 3 | 1 | 0 | 5 | | |
| 巻末 | 3 | 15 | 13 | 0 | 0 | 2 | | |
| 計 | 45 | 100 | 48 | 18 | 9 | 25 | | |
| | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次及び巻頭「「まなびリンク」を活用しよう」ページで、学習におけるデジタルコンテンツの使い方が例示されている。 ○ 筆や硯などの学習用具を製作している会社や組合など、学習に関連する団体のWebページの画像を閲覧できる二次元コードが2つ、国立文化財機構所蔵品統合検索システムにアクセスできる二次元コードが1つある。 ○ ワークシートを閲覧できる二次元コードが3つある。 ○ 毛筆の主教材を毛筆・硬筆の楷書・硬筆の行書で書字する動画が閲覧でき、それぞれを比較しながら学習できるようになっている。 | |
| 光 村 | | 二次元 コード数 | 資料数 | 資料の内容 | | | | その他 |
| | | | | 動画 | | | | |
| | | | | 書字動画 | | | | |
| | | | | 毛筆 | 硬筆 | | | |
| | 別冊 (書写 ブック) | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 巻頭 | 12 | 18 | 0 | 0 | 14 | 4 | |
| | 1年 | 18 | 19 | 10 | 1 | 4 | 4 | |
| | 2年 | 11 | 12 | 6 | 0 | 0 | 6 | |
| 3年 | 7 | 7 | 2 | 0 | 0 | 5 | | |
| 巻末 | 8 | 11 | 3 | 1 | 6 | 1 | | |
| 計 | 57 | 68 | 21 | 2 | 24 | 21 | | |
| | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の二次元コードでは、用具の扱い方や準備の仕方、姿勢、学習の前後の体操の様子の動画が閲覧できる。 ○ 学習の参考となるアニメーション動画を閲覧できる二次元コードが3つある。 ○ 二次元コード上部に「動画」「他の文字にもチャレンジ！」等、確認できる資料の概要が記載されている。 ○ 「文字マップ」や「SDGsについて」等、教科用図書に収録されていない関連資料を閲覧できる二次元コードが6つある。 ○ 「他の文字にもチャレンジ」と書かれた二次元コードからは、補助教材（毛筆の手本）が閲覧できる。 | |